



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月2日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4512 URL <https://www.wakamoto-pharm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五十嵐 新
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 福原 和彦 TEL 03-3279-0371
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,267	0.0	33	—	128	—	110	△47.5
2022年3月期第3四半期	6,266	—	△95	—	△57	—	210	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	3.18	—
2022年3月期第3四半期	6.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	15,143	11,767	77.7	339.06
2022年3月期	14,953	11,480	76.8	330.79

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,767百万円 2022年3月期 11,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 2023年3月期 (予想) の配当は未定であります。

直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	1.4	90	—	110	52.2	150	△37.1	4.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	34,838,325株	2022年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	131,324株	2022年3月期	131,077株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	34,707,172株	2022年3月期3Q	34,707,374株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症が第7波・第8波と再拡大した影響は残るものの、各種コロナ政策が段階的に緩和され、経済活動は緩やかに持ち直す傾向が見られましたが、ウクライナ情勢の長期化に起因した原材料価格・エネルギー価格の高騰を受け、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社を取り巻く環境は、医薬事業では毎年の薬価改定による薬剤費の引き下げが継続的に推し進められ厳しい環境下にあります。ヘルスケア事業では国内消費が緩やかに持ち直しつつある状況に加え、外国人観光客の入国制限も大幅に緩和され、インバウンド需要も徐々に回復しつつあります。

そのなかにおいて当社の医薬事業では、これまでの医療用医薬品の適正使用の推進と副作用関連の情報提供活動に加えて、卸との連携を強化することで主力製品である眼科手術補助剤・眼科用副腎皮質ホルモン剤「マキュエイド眼注用40mg」等の利益製品の販売シェアを拡大し、利益を生み出す構造へ変革を推進してまいりました。また10月からは医療機器の分野に新たに参入し、「M22 I P Lモデル」の販売活動を開始いたしました。ヘルスケア事業においては、店頭での販促活動やSNSを活用した広告宣伝を通じて、主力製品の「強力わかもと」を40代、50代を中心とした新規顧客層に対して認知拡大を図る一方、通販では「アバンビーズ オーラルタブレット（乳酸菌含有加工食品）」の休眠顧客に対してアプローチを行ってまいりました。グローバル事業は台湾などアジア圏での「強力わかもと」の販売に加え、米国や欧州、アジア圏においてライセンスイン・アウトの活動、また中国越境ECビジネスでの代理店との協働を促進した営業活動を行い、国内では医薬品原料の販売や受託製造を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は62億6千7百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益は3千3百万円（前年同期は営業損失9千5百万円）、経常利益は1億2千8百万円（前年同期は経常損失5千7百万円）、四半期純利益は1億1千万円（前年同期比47.5%減）となりました。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では「マキュエイド眼注用40mg」、「カルテオロール塩酸塩LA点眼液」の売上が増加いたしました。また、「ドルモロール配合点眼液」及び長期収載医薬品である「リズモンTG点眼液」の売上が減少し、また原薬提供停滞に伴う供給停止により「FAD腸溶錠」の売上が減少いたしました。その結果、売上高は32億6千1百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

ヘルスケア事業では、主力製品の「強力わかもと」、「アレジフェンス」の売上が増加いたしました。また、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が減少いたしました。その結果、売上高は14億9百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

グローバル事業では、一部受託製品の売上が減少いたしました。また、海外向け「強力わかもと」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は14億6千2百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

なお、当第1四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前事業年度との比較については変更後の報告セグメントの区分に基づいております。詳細については、8ページ「セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。テナント入替の影響で一時的に減少したオフィス賃貸料が回復したことに加え、各種コロナ政策が段階的に緩和され、経済活動が活性化したことにより商業賃貸料も増加いたしました。その結果、売上高は1億3千3百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、151億4千3百万円となり前事業年度末比1億9千万円（1.3%）の増加となりました。流動資産は89億3千4百万円となり3億2千6百万円（3.8%）の増加、固定資産は62億8百万円となり1億3千6百万円（2.2%）の減少となりました。

流動資産が増加いたしましたのは、現金及び預金、売掛金が増加したことが主たる要因であります。固定資産が減少いたしましたのは、保険積立金が増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、33億7千5百万円となり前事業年度末比9千6百万円（2.8%）の減少となりました。流動負債は18億7千7百万円となり1億3千1百万円（6.6%）の減少、固定負債は14億9千8百万円となり3千4百万円（2.4%）の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、支払手形及び買掛金が増加したことが主たる要因であります。一方、固定負債が増加いたしましたのは、繰延税金負債が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、117億6千7百万円となり前事業年度末比2億8千7百万円（2.5%）の増加となりました。繰越利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の76.8%から77.7%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、通期の業績予想につきましては2022年5月16日に公表いたしました業績予想及び配当予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,231,889	3,679,156
受取手形及び売掛金	2,664,597	2,923,329
商品及び製品	1,250,309	1,080,085
仕掛品	399,358	305,391
原材料及び貯蔵品	601,342	639,478
未収還付法人税等	3,305	2,133
その他	457,322	305,419
流動資産合計	8,608,125	8,934,993
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,919,643	7,939,299
減価償却累計額	△5,257,371	△5,408,494
建物(純額)	2,662,272	2,530,804
構築物	268,504	268,504
減価償却累計額	△244,046	△248,946
構築物(純額)	24,457	19,558
機械及び装置	8,312,532	8,343,909
減価償却累計額	△7,917,292	△7,992,611
機械及び装置(純額)	395,239	351,297
車両運搬具	37,843	37,843
減価償却累計額	△31,633	△33,255
車両運搬具(純額)	6,210	4,587
工具、器具及び備品	1,017,087	1,034,966
減価償却累計額	△921,735	△948,485
工具、器具及び備品(純額)	95,351	86,481
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	31,000	38,086
有形固定資産合計	3,297,478	3,113,762
無形固定資産		
ソフトウェア	190,211	149,186
ソフトウェア仮勘定	2,160	8,800
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	196,051	161,666
投資その他の資産		
投資有価証券	2,066,342	2,322,826
保険積立金	472,656	310,935
修繕積立金	50,896	73,789
その他	298,988	261,907
貸倒引当金	△37,103	△36,303
投資その他の資産合計	2,851,779	2,933,155
固定資産合計	6,345,310	6,208,584
資産合計	14,953,435	15,143,578

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,074,138	971,735
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	48,429	29,753
未払消費税等	22,848	77,507
賞与引当金	114,300	71,384
その他	649,101	626,650
流動負債合計	2,008,818	1,877,030
固定負債		
退職給付引当金	1,085,141	1,045,182
長期預り金	171,633	172,413
繰延税金負債	205,448	280,296
その他	1,589	794
固定負債合計	1,463,813	1,498,687
負債合計	3,472,632	3,375,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,828	2,675,828
利益剰余金	4,568,208	4,678,636
自己株式	△36,273	△36,333
株主資本合計	10,603,651	10,714,020
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	877,152	1,053,839
評価・換算差額等合計	877,152	1,053,839
純資産合計	11,480,803	11,767,859
負債純資産合計	14,953,435	15,143,578

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,266,402	6,267,995
売上原価	3,036,667	3,359,411
売上総利益	3,229,734	2,908,583
販売費及び一般管理費	3,325,506	2,875,265
営業利益又は営業損失(△)	△95,771	33,317
営業外収益		
受取利息	11	13
受取配当金	44,366	47,370
保険返戻金	—	40,099
雇用調整助成金	2,400	—
その他	7,680	22,911
営業外収益合計	54,458	110,394
営業外費用		
支払利息	386	388
固定資産除却損	3,006	264
寄付金	12,476	12,154
為替差損	—	1,602
その他	9	308
営業外費用合計	15,878	14,717
経常利益又は経常損失(△)	△57,191	128,994
特別利益		
投資有価証券売却益	212,989	—
特別利益合計	212,989	—
特別損失		
固定資産除却損	390	—
特別損失合計	390	—
税引前四半期純利益	155,407	128,994
法人税、住民税及び事業税	13,171	20,838
法人税等調整額	△68,016	△2,272
法人税等合計	△54,844	18,565
四半期純利益	210,252	110,428

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)1
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	3,341,779	1,483,453	1,326,193	114,976	6,266,402	6,266,402	—	6,266,402
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,341,779	1,483,453	1,326,193	114,976	6,266,402	6,266,402	—	6,266,402
セグメント利益又は 損失 (△)	△157,062	△114,627	143,214	32,704	△95,771	△95,771	—	△95,771

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)1
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	3,261,805	1,409,833	1,462,648	133,707	6,267,995	6,267,995	—	6,267,995
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,261,805	1,409,833	1,462,648	133,707	6,267,995	6,267,995	—	6,267,995
セグメント利益又は 損失 (△)	△283,400	159,025	103,883	53,809	33,317	33,317	—	33,317

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、従来の報告セグメントである「国際事業」の名称を「グローバル事業」に変更しております。また国内外のB to B事業を効率的に展開するために組織変更を行い、従来、「医薬事業」に区分していた国内向けの医薬品原料の販売及び受託製造販売に関わる事業を行っている営業企画課を「グローバル事業」に区分しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成したものを記載しております。